令和8年度 自殺ハイリスク者等支援研修会

「助けて」が言えない若者たち

～支援者に求められる気づきと関わり～

小中高生の自殺者数は近年増加傾向にあり、令和7年の自殺者数は過去最多の538人となりました。京都市内では、令和7年の自殺者数全体は減少しているものの、全国と比較して大学生の自殺者の割合が高いという特徴があります。生きづらさを抱える若者への支援や、関係機関との連携を担う支援者に求められる対応について、一緒に学びませんか。

令和8年
11月6日（金）
14:00～15:30

参加費無料

Zoomによるオンライン開催

※研修動画は申込者に後日共有予定です。

定 員	100名（先着順）
対象者	●医療関係者 ●保健・福祉相談支援業務に従事する方 ●教育関係者
内 容	◆講演「助けて」が言えない若者たち ～支援者に求められる気づきと関わり～ 講師／風間 暁 氏 ◆質疑応答

申込方法

ホームページに記載の申込フォームからお申込ください
https://kyoto-kokoro.org/notice/8hiriskkensyu/ >>>

申込をされた方には、11月4日（水）までに研修URLをお送りします。

申込締切 令和8年10月30日（金）17:00

当事者ならではの視点を活かし、若者支援と精神保健の分野で横断的に活動している。NHK Eテレ福祉番組「toi-toi」では、番組の立ち上げから中心的存在として関わり、さまざまな問いに向き合い続けている。

近著に『「回復」という毒――支援に埋め込まれた構造的暴力』（日本評論社）。松本俊彦氏との往復書簡『先生、心の病って本当に治さないといけないんですか？』を、幻冬舎plusで連載。

風間（かざま） 暁（あかつき） 氏

〈講師プロフィール〉認定特定非営利活動法人ASK理事、一般社団法人Void理事・ソーシャルワーカー、北里大学医療衛生学部非常勤教員（社会系医療学）、こども家庭庁「国立児童自立支援施設における児童の処遇に関する専門委員会」委員

問合せ先：京都市こころの健康増進センター相談援助課
TEL：075-314-0355　HP：https://kyoto-kokoro.org/

京都市印刷物第081689号　令和8年10月発行　発行元：京都市こころの健康増進センター 相談援助課